

令和7年度 理工学部学生と学部長との懇談会【質疑応答】

1. 学生生活関係：施設（講義室、駐輪場、生協、空調など）

学年	学生からの意見等	回答掲示
2	駐輪場に関してです。この頃自転車の盗難が目立ちます。私の身の回りでも2人の友人が盗難の被害に遭いました。学校としてはどのような対策を講じていらっしゃるのでしょうか。	未施錠の自転車が盗難に遭い学内で見つかる場合が散見されています。 対策として、自転車の登録ステッカーを学生に配る際に注意事項を配布し施錠を呼びかけています。 今後も引き続き盗難防止の呼び掛け、周知を行いますが、学生の皆さんには短い時間であっても施錠の徹底をお願いします。
3	高電圧室のエアコンの設置をお願いしたいです。	コースの学生委員を通して大型修繕改善設備要求の申請をお願いします。 ただし、審査を通し、予算の確保も必要ですので、すぐ設置するということではありません。
3	昨年度北門閉鎖措置の際に他の門を利用していましたが、東門や西門、近くの公園で吸っている学生を時々見かけました。学内の空いている敷地に簡易的で良いので喫煙所を設けていただきたいです。	喫煙場所を設けている大学もありますが、岩手大学では喫煙所を設けない敷地内全面禁煙が、健康増進法で求められている受動喫煙の防止になると考えています。 ただ、そういう意見が継続して出ているのも事実ですので、引き続き対応を検討していきます。
3	Wi-Fiの届かない教室があるから、ちゃんと届くようにしてほしい。理工学部は全体的につながりにくい。	学内LANに接続するには、下記の2種類の方法があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・クライアント証明書を使用した利用方法（推奨） ・IDとパスワード認証による利用方法（つながりにくいことが多い） <p>クライアント証明書を使用した利用方法（推奨）の手順は下記に。 https://isic.iwate-u.ac.jp/usersguide/network/wireless/certificate</p>
2	岩手大学は環境マネジメント関連に力を入れている環境にいい大学という話を聽きます。 節電、節水は呼びかけられている上に、授業終わりは先生方に電気と冷房を消すように言われている。それでも夜に残って勉強していると冷房がつきっぱなしになっている教室がちらほら見られる。時間なったら勝手に消えるものなのか、警備員さんが見回るときに消しているのか、それとも夜間もつきっぱなしで朝を迎えているのか教えていただきたいです。	冷房は自動でオフになりません。 守衛巡回時に、つけっぱなしの講義室が確認された場合は警備員がオフにしています。 講義室を最後に退室される利用者の方に、オフにしてもらうことになります。 ご協力をお願いします。

3	駐車場に大き目な車が並んでしまうと、狭くて出られない。一部で良いので拡大して欲しい。	今から20年近く前に第一駐車場にプレハブが建てられることになり、残った敷地に当時の駐車場利用台数の駐車を確保する必要があり、当時は殆ど大きい車がありませんでしたので、横幅をぎりぎりに狭く設定したものです。 最近利用者が減ってきてますし、確かに利用した時に狭いと感じていますので、検討させてください。
2	理工学部正門前が危ない。理工学部から教養を受けるためにA棟の方に戻る学生が多く、特に昼の時間帯は大変混雑する。そのため、自転車と歩行者がぶつかりそうになつて危ない。逆に自転車から降りて移動してもらっても全体の動きが遅くなり、一回に横断できる人が少なくなる。できれば歩道信号を長くして欲しい	信号の制御は警察が行っており、交差点までの距離・利用する人達の状況により決められています。伝えることはできますが、色々な立場の人が関係していますのでなかなか変わるものではありません。 管轄しているところに要望を出すことはできるかなと思います。正門は、以前はもっと狭くて、拡張はしましたが、移動する人数が非常に多く集中しているので、危険度が高いということを数値で示してきちんと伝えられれば考慮してもらえるかもしれません。検討してみます。
3	3号館の電気電子通信コースの棟の2階や1階のトイレが汚いです。内履きの人と外履きの人が同時に出入りできるからです。	清掃を実施します。

2. 経済生活関係：授業料免除、奨学金など

学年	学生からの意見等	回答掲示
3	理工学部生に対しての奨学金は「理工学部修学支援奨学金」があるが、2年生以外では特別プログラムの所属が必要です。この奨学金の説明として、「学業優秀な学生の修学支援および進学意欲の促進を目的とする給付型奨学金」とあります。特別プログラムに所属していない学業優秀な学生もあり、特別プログラム生と限定するのは公平な支援とは言えないと思う。限定するべきではないと考えています。	最初に基金を立ち上げた時は、特別プログラムを優先して構想したものですが、実はあまり利用率が高くありません。8コースあると8人が受給できますが毎年そんなに多くありませんので、なぜだろうと考えています。皆さん必要がないのであれば良いのですが、必要な方に資格がなくて申請できないのであれば、今後、検討します。
3	4年後期の学費免除の対象者の詳細について	成績(RPA)上位の優秀な学生を表彰し、授業料免除をしています。大学としては6名までとされていますが、学部として2名追加して全コース1名を選考できるようにしています。
2	私は生活費や授業料の支払いを奨学金に助けられている。友人が授業料の支払い関係で困っているという話を聞く。授業料免除や奨学金の申請をしてみればいいのではと思うが、そもそも情報が伝わっていない可能性がある。岩手大学のHPを見ればそういった情報は載っているけど他にどのような広報を行なっているのでしょうか？	学生へのお知らせは、アイアシスタンントを基本とし、食堂のデジタルサイネージでも時期になるとお知らせを掲載しています。日本学生支援機構の奨学金については、高校在学中からも予約採用のお知らせがあつたりしますので、色々なところで周知に努めています。友達同士でも話をしていただけれどと思います。 教員や学生センターの窓口等、どこかに相談すれば導いてもらえると思います。世の中に出ると、情報を待っていてもつかみきれないサービスもあるので、自分の方から尋ねるように、友達にも言ってあげると良いと思います。

3. 教務関係：講義、成績など

学年	学生からの意見等	回答掲示
2	成績評価に関してです。私は成績評価の不透明性があると考えます。例えば、テスト結果の開示がなされない、シラバスに明記していない方法での成績評価がなされるなどが挙げられます。こういった事柄について学務の方はどうのようにお考えでしょうか。	成績評価は基本的には最初にシラバスに明記します。教える側と皆さんとの間の約束事です。それに従っていないのであれば、どこに問題があるのか言っていただいて、学生或いは教務委員で共有して改善していくことになります。試験結果を開示する、しないは各教員の考えがあると思いますが、開示して欲しいという意見があつたということを共有します。また、必要に応じてシラバス記載内容の改善にも努めます。
M1	成績のつけ方に疑問があった際の対応について	成績評価についてのルールが定められており、申し立てがあった場合異議に対して回答する義務があります。 成績評価に不明な点がある場合は、学務課経由で授業担当教員に問い合わせを行うことができます。 履修の手引き、大学院学生便覧に記載している「成績評価に異議がある場合の問い合わせ」や学期末頃にアイアシスタンントへ掲載される成績問い合わせのお知らせをご確認ください。
2	コース内での成績の順位を知れるようにして欲しいです。	コースによって対応が違うと思いますが、研究室配属の条件等で順位を個別に伝えているケースがあるかもしれません。全体としては、公式には順位は伝えていません。要望があれば、コースで検討していただきましょう。
M1	大学院に進学する以前に、先行履修で取得することできる単位の上限を引き上げていただきたい。	先行履修は学部の担当になります。学部生で取得し大学院入学後に評価するものです。 学部・大学院で連携して検討していきたいと思います。 単位数を決めた経緯があるはずですので簡単には増やすことはできないと思います。 皆さん、単位の定義が決まっているのをご承知かと思いますが、授業を受ける以外に、授業の前の学習、授業の後の学習を合計した一定の時間数の学習で単位が付与されますので、それを前提に単位数の上限が決められたと思われます。 いただいた意見の中で、M1でインターンシップの時間を作るために4年生のうちに単位を取っておきたいという希望もあるようですが、インターンシップの時間を作るために先行履修を使うということが適切なことなのかはよく考えていただきたいと思います。 大学院のカリキュラムは、学部で習得する学力を前提としたものであることを理解していただきたいと思います。

M1	他コースや他学年のこととは知り得ないが、自分の学年の研究室配属の際に、単純な成績順ではない・成績が良くても場合によっては不利益を被るような決め方によって不満を漏らす学生が多くいた。そのため、成績を上げるなど学生ができることも多くあるが、決め方を学部や学科などである程度統一したり改善した方がこれからの中3生以下が不満を持ったり、配属生徒数が足りない研究室が出なくて済むのではないか。	機械・航空宇宙コースの話になってしまいます が、今まで色々な決め方をしてきて、ここ数年そのやり方になっていると思います。 今回問題点をご指摘いただきましたので、今年 コース会議に情報を提供したいと思います。
3	生命コースの研究室配属について、仮配属で取る人数や本配属で取る人数は決まっているのか。また、年によって取る人数が変わるのがどうかを教えていただきたいです。	職位(教授・准教授・助教)での枠のルールがあるわけではありません。ただ勝手に決めているわけでもなく、ある程度のルールはありますので、そんなには大きく変動はしませんが、年によって1~2人は上下します。コース全体で共通するルールがないため事前に人数をお伝えすることはできません。
2	実習などの班分けは、学籍番号順でほぼ同じメンバーになるのですが、この方法である理由があれば教えて頂きたいです。 人数が多いコースに限った事ではありますが、研究室決めなどもあるため、コミュニケーションを広げる機会が増えるとありがたいです。	これまで、色々な方法で実施してきました。 学籍番号順・ランダム、いずれにしても、ポイントとしては、例えば1年次の基礎ゼミなどでは、敢えてランダムの班分けにすることでコミュニケーションを広げ、その後は同じメンバーで活動する機会を増やすことでコミュニケーションを深めてほしい、という意図があります
2	理工学部 国際研修プログラムについて、アメリカなど英語圏の留学先を増やしていただきたいです。	以前はアメリカ・カナダでの研修がありましたが、相手先の担当者が対応できなくなった等の理由で廃止になりました。 現在、理工学部で公式に実施している、韓国・フィリピン・タイの3か国についても先生方の知り合いを通じて実施しています。 欧米圏での研修の要望が出ていますが、深く交流のある先生方がいないため開拓するのが難しく、他学部との連携を考えたり色々努力をしているところですので、ご理解いただければと思います。
3	演習科目でも授業アンケートのようなもので学生の意見を反映できるようにして欲しいです。	現在は、卒業時アンケートに実習・演習の意見を書く人が多いと感じています。 全ての科目で実施できるか分かりませんが、演習科目や実習科目で学生が授業に対して意見を伝える仕組みについて検討したいと思います。
3	社会基盤・環境コースでは、上下水道や道路といった授業を取り扱っているが、座学だけではイメージしづらい部分もあるため、任意の現場見学などを行って頂きたいです。	現在、1年次での被災地学習、3年次の現場見学会を行っています。また現在、3年次に対しては、夏休みのインターンシップや就職等の情報公開を行っておりますが、今後は1、2年次にも拡張して閲覧できるようにしたいと考えています。

4. その他

学年	学生からの意見等	回答掲示
3	理工学部長にご相談などがある場合、どのようにしてご連絡すればよろしいでしょうか。	理工学部事務室へ連絡願います。